

# REHABILI

## プロコン混和剤

## リハビリ工法

表面被覆用亜硝酸リチウムSBRエマルジョン『プロコン混和剤』を用いた『リハビリペースト』『モルタル』による塩害・中性化・ASR補修技術

# リハビリ被覆工法



### 特徴

#### 亜硝酸リチウム含有ポリマーセメントペースト・モルタルによる劣化因子の遮断!

リハビリ被覆工法のリハビリ被覆材には、『リハビリペースト』『モルタル』(亜硝酸リチウム含有ポリマーセメントペースト・モルタル)を使用します。『リハビリペースト』『モルタル』は付着性に優れているため、母材コンクリートとの一体性を確保することができます。また、組織が緻密であるため、劣化因子(水分、塩化物イオン、酸素、二酸化炭素など)の侵入を防ぐことができます。

#### 亜硝酸リチウムによる塩害・中性化・ASR抑制効果の付与!

従来の表面被覆工法の目的は、コンクリート表面から侵入してくる劣化因子を遮断することです。しかし、ポリマーセメントペースト系表面被覆材と亜硝酸リチウムを組み合わせることにより、表面被覆工本来の劣化因子遮断効果に加えて亜硝酸リチウムによる鉄筋腐食抑制効果及びASR膨張抑制効果をコンクリート表層部に付与することが出来ます。そのため、特に塩害、中性化、ASRの補修対策として適しています。

#### 目的に応じた上塗りを選択により、耐久性の向上!

補修目的に応じて、アクリルゴム、ポリマー系塗膜、高分子系浸透性防水材等を使い分けることにより、構造物の耐久性を向上させることができます。

### 施工仕様

補修方法: 左官工法・ローラーによる塗布

被覆材: 『リハビリペースト』『モルタル』(亜硝酸リチウム含有ポリマーセメントペースト・モルタル(プロコン混和剤混入))

防錆剤: 『プロコンガードプライマー』(亜硝酸リチウム系表面含浸材)

### 施工手順 標準仕様

1. 施工面を高圧洗浄またはディスクサンダー等により下地処理します。
2. コンクリート表面全体に『プロコンガードプライマー』を塗布します。(標準塗布量0.3kg/m<sup>2</sup>:塩分量によって塗布量を調整する。)
3. コンクリート表面全体に『リハビリペースト』『モルタル』をコテまたはローラー、刷毛で塗布します。
4. 高分子系浸透性防水材等を用いて上塗りを行い、『リハビリペースト』『モルタル』層を保護します。

必要量積算方法		面積	×厚み	×比重	×配合比	÷全体量	÷荷姿	=数量
リハビリペースト (刷毛塗り用)	RVパウダーN 薄塗り用	( )m <sup>2</sup>	( )mm	2	100 135 20	( )袋		
	プロコン混和剤				35 135 20	( )缶		
リハビリペースト (コテ塗り用)	RVパウダーN 薄塗り用	( )m <sup>2</sup>	( )mm	2	100 130 20	( )袋		
	プロコン混和剤				30 130 20	( )缶		
リハビリモルタル	RVパウダーN 厚塗り用	( )m <sup>2</sup>	( )mm	2	100 120 20	( )袋		
	プロコン混和剤				20 120 20	( )缶		



#### ① 亜硝酸リチウム塗布

●下地処理工完了後、コンクリート表面全体に亜硝酸リチウムを塗布する。



#### ② リハビリ被覆材(亜硝酸リチウム含有ポリマーセメントペースト・モルタル)塗布

●亜硝酸リチウムを含有したリハビリ被覆材をコンクリート表面全体に塗布する。



#### ③ 上塗り

●高分子系浸透性防水材などを用いて上塗りを行い、亜硝酸リチウム含有ポリマーセメントモルタル層を保護する。

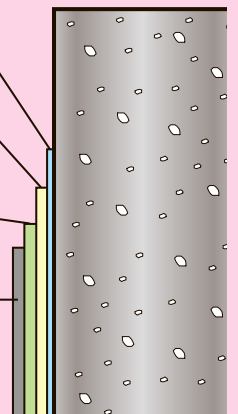


#### ④ 工事完了

●表面被覆工により外部からの劣化因子(水分)を遮断するとともに、コンクリート表層部は亜硝酸リチウムによって塩害・中性化・ASR対策を行う。

### 施工概念図

- ①下地処理(高圧水洗ケレン)
- ②『プロコンガードプライマー』(亜硝酸リチウム系表面含浸材)塗布
- ③『リハビリペースト』『モルタル』(亜硝酸リチウム含有ポリマーセメントペースト・モルタル)
- ④高分子系浸透性防水材など



### リハビリペースト・リハビリモルタル試験成績

項目	材齢	リハビリペースト	リハビリモルタル	備考
硬化体密度(g/cm <sup>3</sup> )		2.0	2.0	4x4x16cm供試体を容積256で除した値
圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )	1日	9.5	15.6	JIS A 1171:2000に準拠
	7日	23.7	30.9	
	28日	31.5	38.8	
曲げ強度(N/mm <sup>2</sup> )	1日	2.8	4.6	試験条件:標準配合、20°C±2°C封緘養生
	7日	5.9	8.1	
	28日	7.2	9.5	
付着強さ(N/mm)		2.1	2.2	
硬化収縮率(%)		-0.02	-0.02	